

No.	種別	委員名	内容	質問への回答
1	質問	加茂副会長	世田谷区清掃・リサイクル事業概要の154ページの経費支出のうち、清掃分担金と資源分別回収事業の令和5年度の費用が令和元年度と比較して約50%増加しているが理由は何か。	(清掃分担金) 東京二十三区清掃一部事務組合(以下「一組」)が管理・運営する清掃工場の建て替え等により一組の歳出が増加したことに伴い、各区が支払う分担金の額が増加したためです。 (資源分別回収事業) 予算管理の適正化を目的として予算科目の見直しをおこなった(令和5年度にペットボトル回収事業を廃止し、費用の大部分を資源分別回収事業に振り分けた)こと及び資源回収の委託料についても人件費の上昇等に伴って費用が増加したことが増加の主な理由です。
2	質問	山本委員	世田谷区清掃・リサイクル事業概要の154ページの経費支出について、令和元年度比較で大きな増減がある事業についてその理由は何か。	令和5年度の歳出決算額は令和元年度と比較して約20億円ほど増加しております。増加額が大きい2つの事業(清掃分担金及び資源分別回収事業)の増加理由については上記の通りです。 また、全体的に委託費における人件費の上昇や一部事業の拡充等により費用が増加しております。
3	質問	山本委員	世田谷区清掃・リサイクル事業概要の4ページにある基本計画のうえで最優先課題は何か。	一般廃棄物処理基本計画につきましては、これまでも発生抑制(リデュース)と再利用(リユース)の2Rに重点をおいて施策を展開してまいりましたが、令和7年度からの計画においても、区民・事業者・区の協働により日常行動やビジネススタイルの行動変容を促進するとともに、持続可能な形で資源を循環的に有効利用するサーキュラーエコノミー(循環経済)への移行を進め、さらなるごみの減量を推進してまいります。 具体的には、若年層・単身世帯・転入者などに対するデジタル技術なども活用した効果的な情報発信、リユースの推進による地域での資源循環、プラスチックの発生抑制と資源循環、充電式電池などの適正処理、災害廃棄物対策、さらなる高齢化への対応などの新たな課題にも積極的に取り組んでいくこととしております。
4	質問	山本委員	世田谷区清掃・リサイクル事業概要の132ページのごみ収集量の推移において、不燃ごみが平成21年度以降、激減している理由は何か。	「不燃ごみ」に区分していたプラスチック、ゴム及び皮革について、2008年10月から分別区分を「可燃ごみ」に変更したことが主な理由と捉えております。